

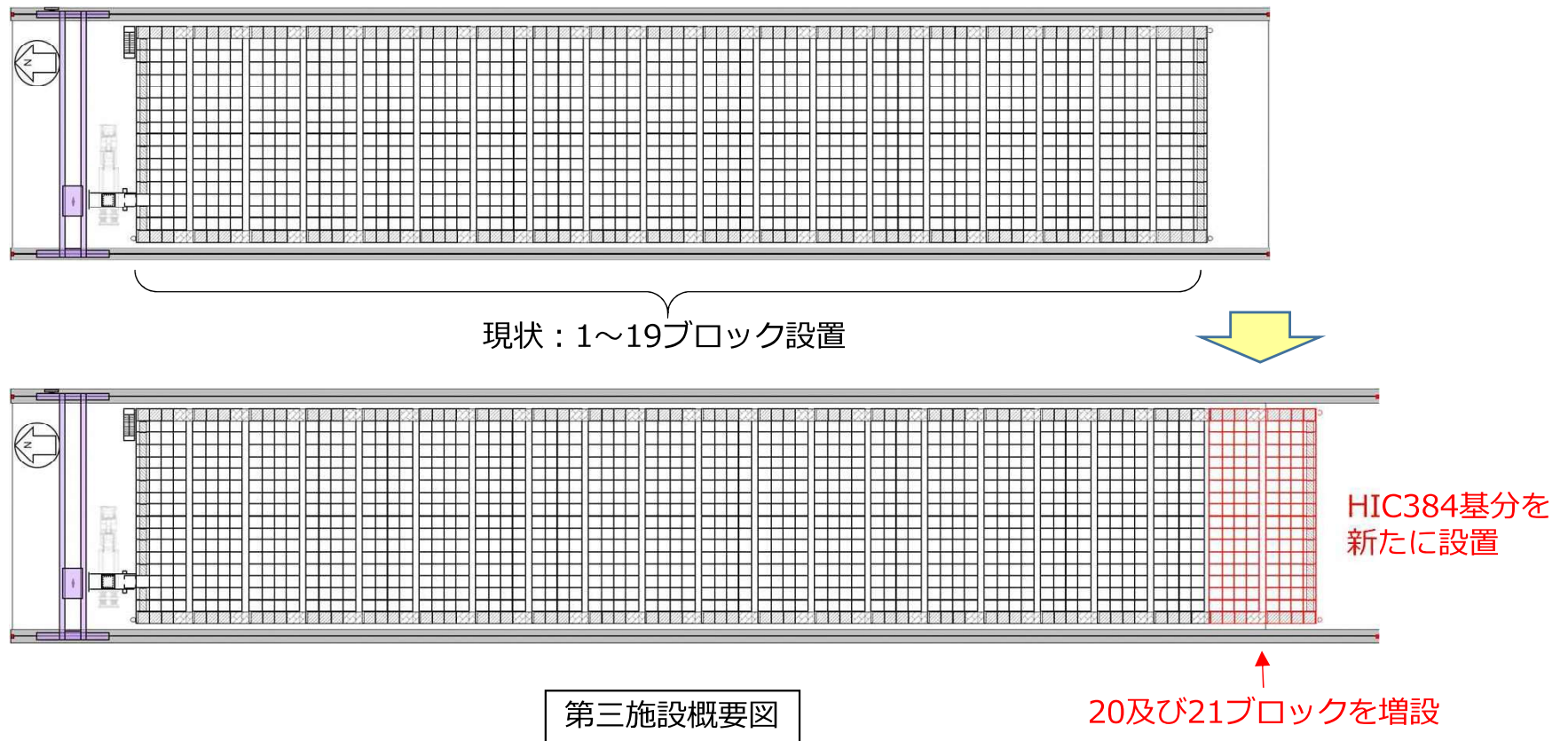
## セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）の変更

**TEPCO**

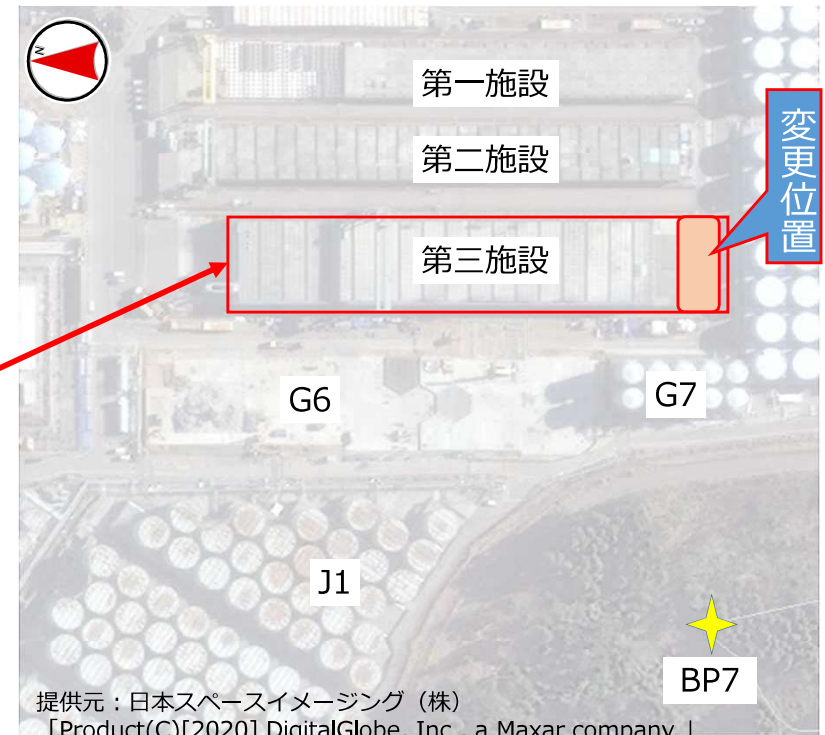
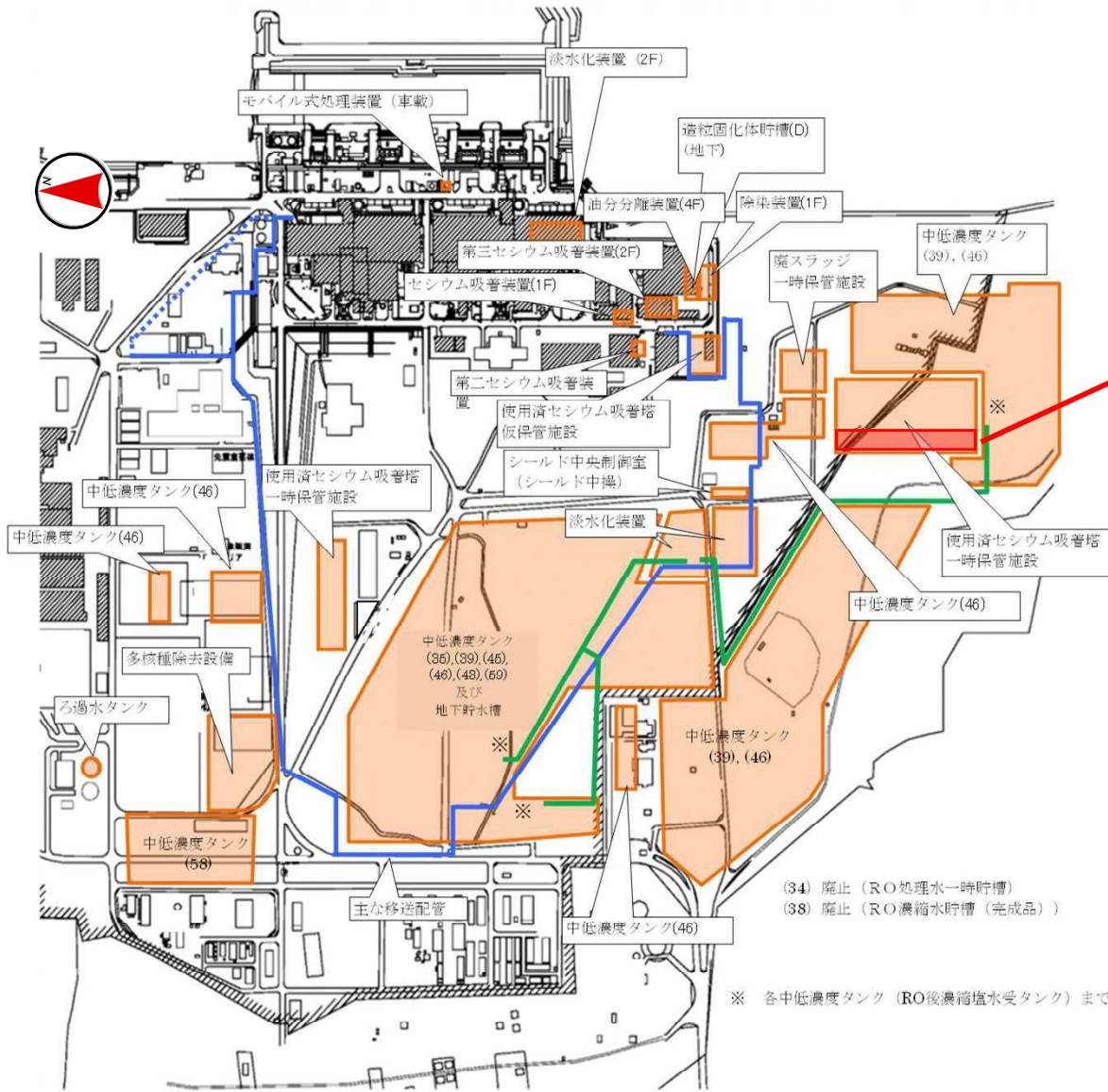
---

東京電力ホールディングス株式会社

- 第三施設南端にHIC384基を格納するボックスカルバートを設置する。HICは多核種除去設備(ALPS)から発生するスラリー、吸着材等の廃棄物を收容するために用いるポリエチレン製の容器。
- ボックスカルバートは、4列×16行×3段積み(HIC192基分収納可)を1ブロック単位として設置する。
- 現状は19ブロック(HIC3648基分)が設置されており、今回20及び21ブロック分を増設する。
- 今回の増設によりHIC保管容量は、合計4768基となる。（第二施設：736基／第三施設：4032基）



# 使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）構内配置



提供元：日本スペースイメージング（株）  
「Product(C)[2020] DigitalGlobe, Inc., a Maxar company.」



第三施設（北面）

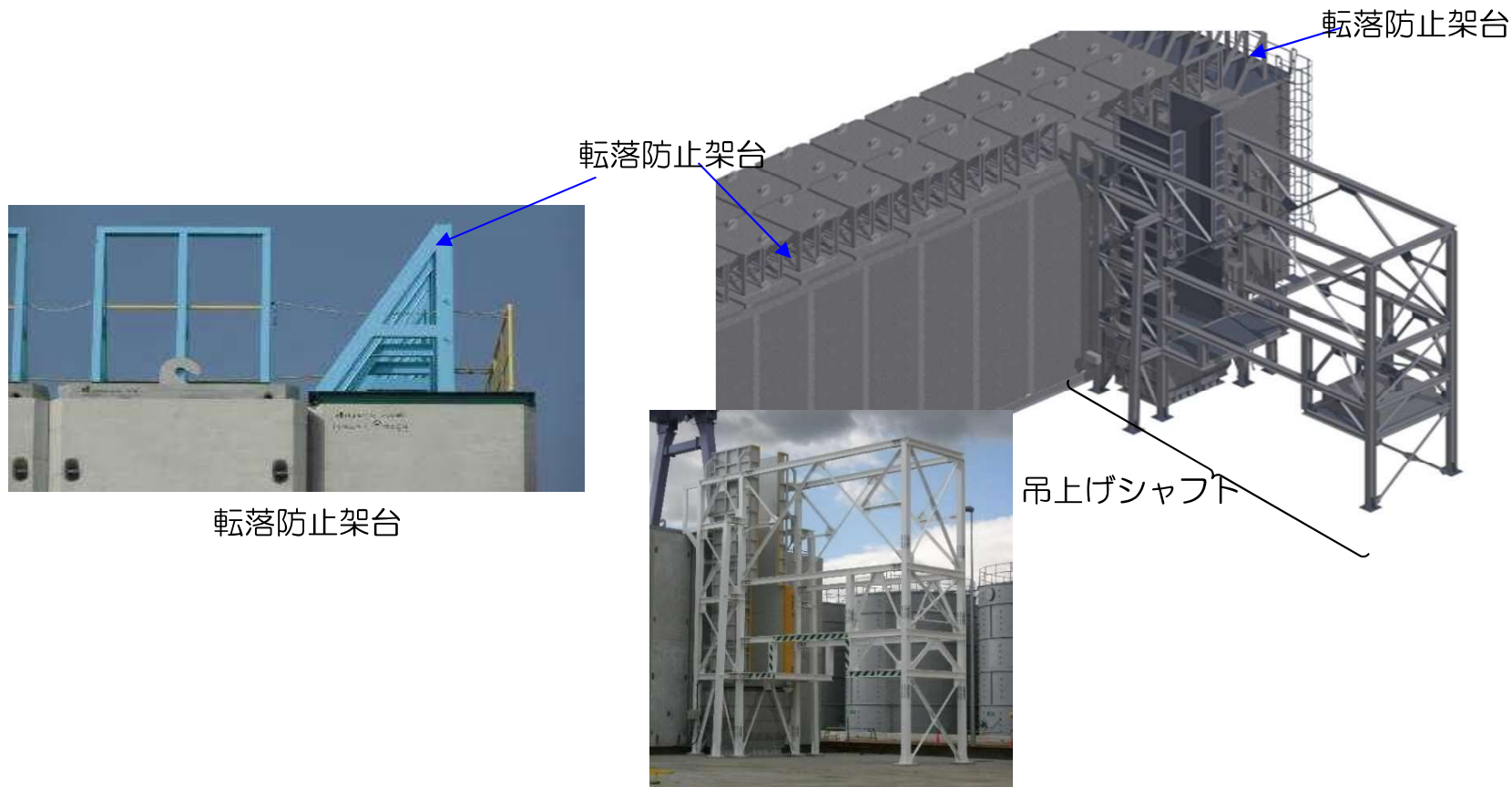


## ■ 施設外へのHIC落下防止策

- ✓施設外へのHIC転落を防止するため、ボックスカルバート上端部に転落防止架台を設置
- ✓クレーンの横行リミットは転落防止架台への接触前に動作

## ■ 施設内におけるHIC落下時の損傷防止策

- ✓門型クレーンの巻上げリミットをHIC落下試験高さ（9.5m）以下に設定
- ✓ボックスカルバート底部に緩衝材を設置し、万一の落下時の衝撃を軽減する。
- ✓HIC直径より大きな隙間を設けないことでHICの横倒れを防止



- 今回の増設工事に続き、新たに第三施設北側に3ブロックまで増設可能なエリアを確保し、最大5344基目までの保管容量の増設を見込める。
- 増設については、今後のHIC発生量等を考慮しながら判断していく。

